

第16週の発生動向 (2006/4/17~2006/4/23)

1. 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、むつ保健所管内で**警報**が出ています。
2. 伝染性紅斑については、先週に引き続き、弘前、五所川原保健所管内で**警報**が出ています。
3. 流行性耳下腺炎については、上十三、むつ保健所管内において、**注意報**が出されました。
4. インフルエンザについては、県域レベルでは前週より53人増加し、弘前及び八戸保健所管内での報告数が多いので、注意が必要と思われます。むつ保健所管内では、迅速診断キットによる検査結果として、A型：3件、B型：1件が報告されています。

第16週五類感染症定点把握

疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		インフルエンザ	小児科 (内科+小児科)	内科	眼科	基幹
(72) インフルエンザ	5	0.36	45	3.00	93	6.64	15	2.14	6	0.67	4	0.67	168	2.58	53					
(60) 咽頭結膜熱					1	0.11					9	2.25	10	0.24	-1					
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	2.44	22	2.44	14	1.56			12	2.00	7	1.75	77	1.83	19					
(62) 感染性胃腸炎	45	5.00	70	7.78	14	1.56	5	1.00	32	5.33	28	7.00	194	4.62	26					
(63) 水痘	15	1.67	9	1.00	8	0.89	6	1.20	8	1.33	3	0.75	49	1.17	-6					
(64) 手足口病									3	0.50			3	0.07	2					
(65) 伝染性紅斑	4	0.44	29	3.22	3	0.33	14	2.80	4	0.67	2	0.50	56	1.33	1					
(66) 突発性発しん	4	0.44	6	0.67	7	0.78	1	0.20	7	1.17	4	1.00	29	0.69	7					
(67) 百日咳															0					
(68) 風しん															0					
(69) ヘルパンギーナ											2	0.50	2	0.05	1					
(70) 麻しん(成人を除く)															0					
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.11	11	1.22	6	0.67	8	1.60	26	4.33	12	3.00	64	1.52	18					
(73) 急性出血性結膜炎															0					
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50			4	2.00	1	1.00	1	0.50			7	0.64	0					
(59) RSウイルス感染症			2	0.22			1	0.20					3	0.27	-5					
(82) マイコプラズマ肺炎					3	3.00							3	0.60	0					

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

感染症の窓

つつが虫病

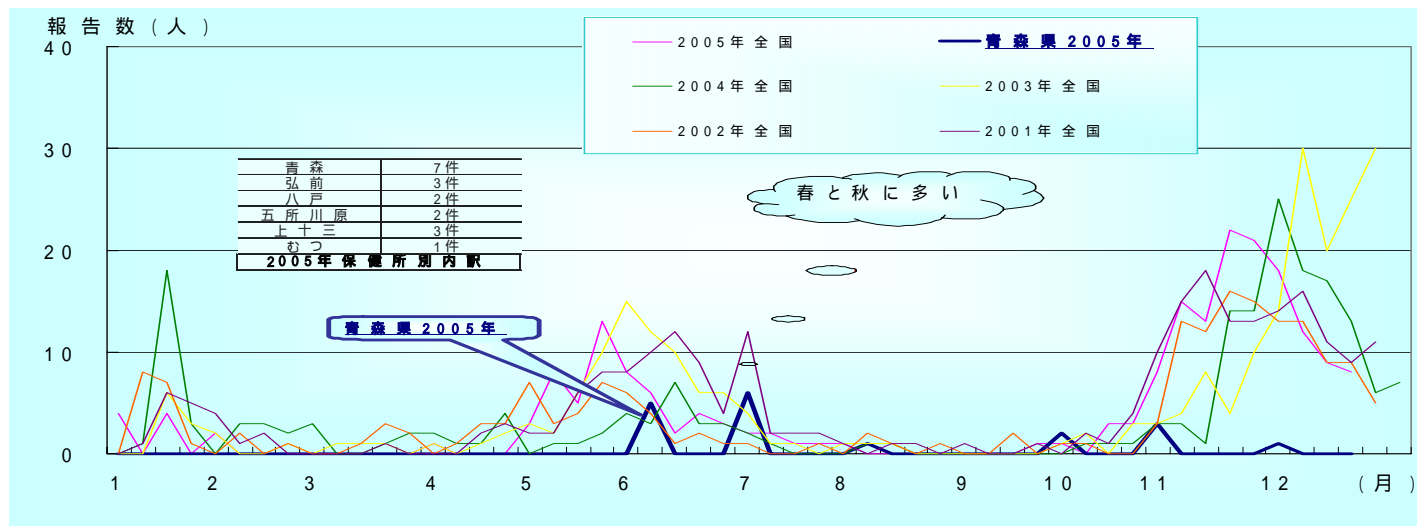


図. 5年間にわける全国報告数の推移と青森県における2005年報告数

つつが虫病は、図に示したように、全国の過去5年間の推移から、5月~7月の春~初夏と10月~12月の秋~初冬に発生し、青森県においても同様の傾向にあります。2005年の青森県の報告数は、18件(図中)でした。本疾病は、病原体を保有しているダニに刺されることにより感染します。ゴールデンウィーク中や、初夏にかけて、山菜採りやハイキングに行く方は、素肌の露出はなるべく避けてください。山林等に入った後、10日間前後にダニの刺し口、発熱や発疹が見られた場合は、速やかに病院を受診してください。

関連ページ: 保健衛生課 “つつが虫病に注意しましょう” <http://www5.pref.aomori.jp/hoken/8382/cpub.html>